

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 日 作成
 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		要保護児童対策及びDV防止対策等地域協議会運営事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名	青木洋治
	施策	21	人権が尊重される社会づくり	所属課	子育て支援課	担当者名	石田純司
	基本事業	73	人権相談体制の充実	所属班	子ども保育班	(内線)	2154
				法令根拠	児童福祉法 合志市要保護児童対策及びDV防止対策等地域協議会要綱		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	コスト削減優先度評価結果
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
 要保護児童対策及びDV防止対策等地域協議会を年1~2回程度開催する。

【業務の流れ】

【主な予算費目】

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 代表者会議、実務者会議の開催
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 児童虐待、DV、高齢者及び障害者虐待に係る機関等	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) → ア 会議開催人数 回 イ 会議出席機関数 機関
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・関係機関が情報を共有し、虐待、DV等を早期発見し適切な対応を図ることができる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) → ア 実務者会議、ケース検討会議開催数 回 イ 協議会構成機関数 機関
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 見守られ、悩みを解消できる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) → ア 代表者会議出席来関数と協議会構成来関数の割合 % イ ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) → ア 人権相談等件数 件 イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	30	0	0	0	0	0	0		
	(A) 事業費計	千円	30	0	0	0	0	0	0		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費										
正規職員従事人数	人	4	5	5	7	5	5	5			
延べ業務時間	時間	110	150	150	310	150	150	150			
(B) 人件費計	千円	437	597	597	1,234	597	597	597	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	467	597	597	1,234	597	597	597	0		

指標	単位	18年度 実績	19年度 実績	20年度 目標	20年度 実績	21年度 目標	22年度 (目標)	23年度 (予定)	22 年度
活動指標	回 機関	6 50	17 47	15 58	20 56	30 60	30 60	30 60	目 標 合 計 数 計 画 22 年 度
対象指標	回 機関	6 66	16 66	15 70	19 68	29 70	29 70	29 70	
成果指標	%	76	71	83	82	86	86	86	
上位成果指標	件	200	142	220					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 児童福祉法の改正に伴い、平成17年4月旧合志町、旧西合志町の児童虐待防止ネットワークが設置され、11月に両町で要保護児童対策及びDV防止対策等地域協議会を立ち上げていた。平成18年の合併に伴い、合志市要保護児童対策及びDV防止対策等地域協議会が発足。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 児童福祉法改正により市が児童相談の第一義的窓口と位置付けられた。児童相談体制の強化が求められている。また、協議会の構成期間になっていることで各機関の虐待防止、早期発見に対する役割意識が高められている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 協議会構成機関の実務者から「関係機関が連携する上で、実務者会議を定期的に開催し、情報の共有化を図った方がよい」との意見があった。

事務事業名	要保護児童対策及びDV防止対策等地域協議会運営事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	---------------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 協議会構成機関で情報を共有し相互に連携を図ることを目的としており「子ども(障害者、高齢者)を地域で見守っている」に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 児童福祉法により協議会は滋賀設置すること、また、合志市要保護児童対策及びDV防止対策等地域協議会要綱により子育て支援課が調整機関となることが決められている。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 児童福祉法により協議会を設定しものであり、現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 協議会構成機関の連携を図るため、定期的の実務者会議を開催する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 関係機関が、情報の共有、虐待・DV早期発見のための連携をとりづらくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 19年度から事業費を削減している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正規職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 事例によって相談対応時間・方法が異なり個人情報が多いため正規職員以外の職員や委託での対応はできないと考える。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 児童福祉法に基づき実施するもので公平・構成である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)